

數より少なし、未婚男子の死亡數は總ての年齢に於て未婚女子よりも多し、四十歳以上に於ては已婚男子の死亡數已婚女子の死亡數より多し、餘夫の死亡數は總ての年齢に於て寡婦の死亡數よりも多しと。

●仙臺松操學校 (私立仙臺市本荒町)

目的 本校ハ小學校裁縫科教員タラント欲スルモノヲ養成シ併セテ一家ノ主婦タルヘキモノニ普

通裁縫ヲ教授スルヲ以テ目的トス  
教科ヲ分チテ尋常高等ノ二科トス

學科目ハ裁縫禮法音樂ノ三科目トス但高等科ニハ副學科トシテ教育國語ノ二科ヲ置ク

課程表略ス  
修業年限、尋常科四ヶ月高等科八ヶ月通シテ一年トス

學年 九月一日ヨリ始マリ翌年八月卅一日ニ終ル

入學 入學期ハ九月ニ定ムレトモ臨時入學ヲ許ス

入學生ハ左ノ資格ヲ有スルモノトス

本校卒業ノ上ハ小學校裁縫科教員タラント欲スル志望ニシテ入學セントスルモノハ高等小學校卒業以上ノ學力ヲ有シ品行端正身體強健ナルモノ

其他ノ入學志望者ハ尋常小學校卒業ノモノ或ハコレト同等ノ學力ヲ有シ操行正シク身體健全ナルモノタルベシ

束修金一圓

授業料五十錢教育國語ノ二科ヲ修ムルモノハ更ラ

ニ一ヶ月二十錢ヲ出スベシ

寄宿舎一ヶ月五圓十錢外ニ電燈料十錢但シ物價ノ高低ニヨリ變更スヘシ

雜費授業材料費一ヶ月凡金三圓二十錢小遣及入浴料一ヶ月一圓二十錢

校長 朴澤三代治

因ニ記ス該校ハ明治十二年ノ創設ニシテ爾來今日迄卒業セシモノ二千有余名ニ達シ其過半ハ小學校裁縫科教員トナレルモノ多シ爲メニ去ル二十七年五月設函者ノ裁縫教授ニ熱心ナル功績上聞ニ達シ藍綬褒賞ヲ賜ハリシト云フ

東京には本郷に渡邊縫裁女學校あり、生徒數千を以て數ふることなれども、校風といふか如きは如何にや、詳細は何れ調査の上報導すべし、神田には古くより女子職業學校あり之も他日參觀の上報導致すべし

### 新刊紹介

#### ●實教育學教科書

一冊

黒田定治共著  
東基吉著

教科書として最も適當した、述で且つ教育學の何たるを知るにも極めて適當な書物として吾人は之を紹介する。全體を緒論と目的論と方法論とに分けて、緒論には教育の學と術と、教育學と他の科學との關係、教育の意義などを説き目的論に於ては古來よりの教育上の諸主義殊に近世に至りて頓に其聲を高めた個人主義と社

會主義とを評論し去つて遂に教育の目的を詳解して、中々嶄新な意見を吐いて居る。方法論に於ては劈頭ヘルバルトの教授目的論を論評して餘隙なからしめたる所、殊に訓練の篇は最も注意して理論と實際とに詳細を盡くし且つ修身教授と訓練との關係を明瞭にし、訓練を以て修身の直學教授なりとなせる所の如き、其賞罰に關する立論の如き最も見るべきである。要するに本書は滔々たる他の著書の上に確に一頭地を抽いたもので、讀者をして確に最近教育學に付きて確固たる概念を與ふべき良書である。(定價七十五錢。發行所、東京京橋區南傳馬町二ノ五目黒書店)

#### ●湘烟日記

全一冊

石川榮司共編  
藤生てい編

有名なる明治の女豪男爵夫人故中島俊子の遺稿病中日記と詩抄と漫筆とを載せ、始めに此書の出來たる由來として編者が大磯なる男爵家を訪ひしに筆を起し、續きて女子の略歴は石川氏の筆になれり。序文にもあるが如く、湘烟日記は其中の主なる一篇病中日誌を取りて表題とせるものなり。然れども此書によりて女史の才學女子の、淑徳女史の意志、凡そ女史の面影の大平に寫し出されて餘蘊なし、慙をいば、女史の履歴は略歴とせで、今少し詳ならん事を欲するのみ。蓋し女史の如きは、當今滔々たる所謂才女の、偏へに利を好み名を衒ひ、一世を瞞着せんとして、賞賛と非難と相半するが如きものと異なるを以てなり。然れども、元來此書は女史の遺稿を世に公にするの趣意なるを以て、傳の詳なるは其評さる所なりしならんか。宛に角、吾等は是所に近世の好出版として、殊に女教師女學生諸君に一讀再讀あらんことを勧むるに躊躇